

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中市本町1丁目 新築工事	階数	地上12F,地下0F
建設地	大阪府豊中市本町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	132 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2023年2月10日
敷地面積	611 m ²	作成者	株式会社 榎並工務店一級建築士事務所
建築面積	320 m ²	確認日	2023年2月10日
延床面積	2,776 m ²	確認者	株式会社 榎並工務店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	101%
③上記+②以外の	101%
④上記+	101%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	3.2
空気質環境	2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.7
耐用性	2.8
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	2.2
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	2.9
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	室内の空気質環境の向上や緑地を確保することで敷地内の室外環境を向上させるだけでなく、エネルギー抑制や交通負荷抑制など敷地外の環境にも配慮した計画とした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	カーテンと庇により昼光制御を行い、良好な室内環境となるように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなどして、エネルギー抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖に配慮した。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0156

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中市本町1丁目 新築工事						
	建設地	大阪府豊中市本町						
	用途/区分	集合住宅 物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				2.9	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							